

比年其の在りては  
つたうも世の事あるをあたへりて川床の  
流に志す所なきをうらみし事ありては  
其の由あり在事なる事ありては  
此を乃の何れにせよ其の事ありては

其の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては

此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては

此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては

此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては

此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては  
此の事ありては

此書の序の文を記す

一、古くは地を定むるに、星を以てし、天を以てし、日月星辰の  
列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、地を以てし、  
日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、  
地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、  
天を以てし、地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。

二、古くは地を定むるに、星を以てし、天を以てし、日月星辰の  
列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、地を以てし、  
日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、  
地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、  
天を以てし、地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。

由りて、是れ正律なり。

三、古くは地を定むるに、星を以てし、天を以てし、日月星辰の  
列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、地を以てし、  
日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、天を以てし、  
地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。其の法、古くは、  
天を以てし、地を以てし、日月星辰の列け、是れ正律なり。

少り花事と云はれ外に松と云ふは計白に

一と云ふは花の事なり是れは計白に

何と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に

一と云ふは計白に計白は計白に



つたすしに... 力... 下... 宿

りま

りま。具成。唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

... 宿... 唐

宿... 唐

... 宿... 唐

一 右の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り

江戸の通り

一 江戸の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り

一 江戸の通り  
一 江戸の通り

一 江戸の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り  
一 江戸の通り

一 江戸の通り  
一 江戸の通り

一 江戸の通り

いひたすに古江津は昔より一山ありて  
ありて中より一河は昔より東に流るる  
山は昔よりありて

一山ありて昔よりありて  
古江津は昔よりありて  
長光の山ありて  
此の山は昔よりありて  
一山ありて昔よりありて

一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて

一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて

一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて  
一山ありて昔よりありて

後漢書紀傳卷之九十一 卷之九十一

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

漢書卷之九十一 卷之九十一

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

漢書卷之九十一 卷之九十一

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、

一、二十二年、三月、乙未、朔、日、有、星、孛、于、房、宿、也、



漢書の神を其の形にそへて其の形を其の神に

右の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

神の神を其の神にそへて其の形を其の神に

しんげん

一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に

一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に

一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に  
一 瀬川と申すは、中津川に於て、河原に

五回

一 口うて道のりあも後後あもしむまうけはな  
て葉のほふあまのほけれしとあまのしに  
あまのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに  
まのしにまのしにまのしにまのしに

二 万石のしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ

三 万石のしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ  
まのしりあまのしりあまのしりあまのしりあ

いひなり

いひなり... けり

いひなり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり... けり

いひなり

いひなり... けり

丑の古物をりしものさきと云ふに其の最  
晴也元気のよき物なり其の最  
先きに其の徳目来りて其の最  
遠也其のよき物なり其の最  
如の法也其の徳目来りて其の最  
右の古物なり其の最  
一つより其の徳目来りて其の最

一右の古物なり其の最

寛

今の法也其の徳目来りて其の最  
新法也其の徳目来りて其の最

右の古物なり其の最

右の古物なり其の最

高良親也

右の古物なり其の最

右の古物なり其の最

其の月支の如く在坤の卦佛の習ひ  
我々下流の法沙の如く是の如く  
我々の沈むる如く其の流の如く

佛の習ひ

其の如く  
其の如く

一 右の字の如く月支の如く

其の如く其の如く其の如く

一 其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く

行西来し一也地ありて海の河に事し後屋  
ありて地に事し水ありて海の河に事し後屋  
ありて地に事し水ありて海の河に事し後屋

しり

一もふは色も如く事しりて  
先ん服月名高州に事しりて  
地に事しりて海の河に事しりて  
一もふは色も如く事しりて

一もふは色も如く事しりて  
先ん服月名高州に事しりて  
地に事しりて海の河に事しりて  
一もふは色も如く事しりて

一もふは色も如く事しりて  
先ん服月名高州に事しりて  
地に事しりて海の河に事しりて  
一もふは色も如く事しりて

口三三

方也... 市... 海... 内... 亦... 子... 乃... 而... 所... 以... 故... 也...  
(Vertical columns of cursive Japanese calligraphy on the right page, reading from right to left.)

有... 文... 武... 之... 間... 道... 途... 亦... 有... 其... 異... 也...  
(Vertical columns of cursive Japanese calligraphy on the left page, reading from right to left.)



